

「2020東京運河ごみゼロカヌーツーリング」実施報告書

◆目的

東京オリンピック・パラリンピック開催を前に、オリ・パラへの意欲関心の向上と、国内外から東京を訪れる人々に“おもてなし”する環境美化意識の醸成を目的に、東京運河で障害の有無にかかわらず誰でも参加できるカヌーに乗った清掃活動を実施する。

◆開催日時

2020年 11月26日（木）10：00～12：00

◆催事者

- ・主催：公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
- ・協力：NPO法人マリンプレイス東京（若洲海浜公園ヨット訓練所）、江東区カヌー協会、一般社団法人日本障害者カヌー協会、関東ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会（順不同）

◆開催場所

- ・集合および閉会式：若洲海浜公園ヨット訓練所（〒136-0083 東京都江東区若洲3丁目1-1）
- ・ルート：砂町南運河



◆参加費

無料（カヌー・ライフジャケット無料貸し出し）

◆マスコミ取材

- ・朝日新聞社
- ・舵社（カヌーワールド） 新聞1紙、雑誌1誌

◆ 参加者数

- ・艇数：カヌー45艇（シングルカヌー44艇、タンデムカヌー1艇）
- ・参加者：合計 46人

◆ 成果

- ・昨年度、東京都江東区後援のもと、中川船番所資料館前の河川敷（旧中川）からカヌー約200艇が出艇し、墨田区のスカイツリーの麓（北十間川）までの往復10kmをツーリングしながら清掃活動を行った。
- ・今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、同区の後援が受けられず、河川の使用が不可となったため、若洲ヨット訓練所の許可を受け、平日に小規模実施することとした。
- ・当日は晴天の中、江東区カヌー協会や障害者カヌー協会、B & G財団から46名が参加。若洲ヨット訓練所前の河川（砂町南運河）約3kmのコースをツーリングしながら川岸の清掃を行い、45ℓ袋79袋分、約3600ℓのゴミを回収した。
- ・一般社団法人 日本障害者カヌー協会とも連携をとり、車椅子の方も参加するなど、障害の有無に関係なく参加できる事業とすることができた。
- ・マスコミ2社からの取材を受け、11月27日（金）の朝日新聞朝刊社会面にて大きく報道され、環境美化をPRするとともに、事業周知を図ることができた。

◆ 参加者の感想

- ・スタッフ、参加者ともに、「環境改善」と「カヌーを楽しむ」という共通目的のもと行われている活動であると分かり、有意義だった。
- ・ゴミが多くて拾いがいがありました。また、わりと風がありましたが、カヌーを漕ぎなれている方たちでしたので、心配することなく最後まで終えることができたのはよかったです。
- ・各リーダーを中心に隊列を組んでのツーリングであり、規律がしっかりととれていた。
- ・参加者の方も笑顔で活動されていて、有意義なイベントでした。

◆ 添付資料

- ・朝日新聞 朝刊紙面（2020/11/27）

◆ 写真



開会式

主催者を代表してB&G財団理事長菅原悟志よりご挨拶
事業参加者（江東区カヌー協会所属チーム）の紹介も行った



出艇時の記念撮影



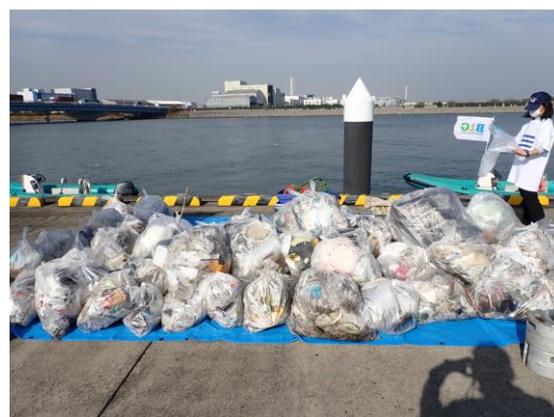
ごみを拾う参加者



ツーリングを楽しむ参加者



ツーリングを楽しむ参加者



450ごみ袋79袋、約3600Lのごみが集まった
以上